

## 地域密着型金融の取組事例について

タイトル 担い手等への訪問活動強化

J A 名 J Aバンク佐賀（佐賀県）

1 動機 (経緯)	<p>他金融機関による農業分野への攻勢が強まる中、担い手（認定農業者・集落営農組織等）との信頼関係（絆）を強固なものとするため、信用・経済（営農）事業担当職員との連携による恒常的訪問活動を通じ、情報提供・相談機能の強化に努め、多様化する担い手のニーズに対し確かな対応を図り、農業メインバンクとしての地位堅守に努めるべく以下の取組みを実施しています。</p>
2 概要	<p>毎月開催されているTAC（経済渉外担当者）の定例ミーティングに金融担い手リーダー（貸付担当者）が出席し、農業資金の概要・金利一覧表等の情報提供等を行っている。</p> <p>担い手等への訪問先については、TAC担当者等の訪問先を中心にTAC担当者・担い手金融リーダーが抽出し、支所長へ報告・決定し、訪問活動については、店舗の体制面に問題もあることからTAC担当者等・担い手金融リーダーが訪問日を設定し、同行訪問を実施しています。</p>
3 成果 (効果)	<p>訪問先からは、『出向いて来てくれると小さいことも相談しやすい』との声も聞かれ、恒常的な訪問活動の必要性をあらためて認識しています。</p> <p>中には、ハウスの施設資金・農機具等の相談を受け、融資による金融支援に結び付いた事例もあります。</p>
4 今後の 予定（課題）	<p>担い手等との信頼関係を強固なものとするためには、訪問頻度を増やし取組んでいく必要があります。</p> <p>24年度は出向く体制を整備し取組むこととしています。</p>